

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-136	23-091	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
Risk of diabetes and hypertension in a population with alcohol use disorders 飲酒関連疾患のある集団における糖尿病と高血圧のリスク		
執筆者		
Tseng PY, Sung FC, Muo CH, Lan YC, Hser YI, Chien SH, Wang JY.		
掲載誌		
BMC Public Health. 2024 Mar 21;24(1):868. doi: 10.1186/s12889-024-18318-y.		
キーワード	PMID	
高血圧、糖尿病、後ろ向きコホート研究、慢性疾患	38515085	
要 旨		
<p>目的: 飲酒関連疾患を持つ集団における高血圧や糖尿病の発症リスクを評価した人口ベースの研究は少ない。台湾における医療保険請求データを用いてこれを検討した。</p> <p>方法: 医療保険請求データから、2000-2006年の飲酒関連疾患集団約6万人と、プロペンシティブスコアでマッチさせた飲酒関連疾患のない対照集団約6万人（いずれも高血圧と糖尿病がない人）を抽出した。2016年までこの集団を追跡して高血圧と糖尿病の罹患率を把握し、Coxモデルを用いてハザード比を算出した。</p> <p>結果: 比較対照群に比べて、飲酒関連疾患集団では、1.7倍高血圧発症リスク（調整ハザード比）が高く、2.2倍糖尿病発症リスクが高かった。いずれの発症についても、女性よりも男性で発症率が高かったが、ハザード比は男性よりも女性の方が大きかった。</p> <p>結論: 飲酒関連疾患患者では、糖尿病や高血圧の発症リスクが上昇するが、性別による違いが見られた。臨床家はこれらの患者において将来の合併症について注意する必要がある。</p>		